

船舶事故調査報告書

令和元年6月19日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	漕手死亡																																								
発生日時	不明（平成30年4月5日 09時00分ごろ～4月10日 14時55分ごろの間）																																								
発生場所	不明（静岡県南伊豆町妻良漁港沖～静岡県伊豆市小下田の海岸付近の間）																																								
事故の概要	シーカヤック（船名なし）は、漕手2名が落水して死亡した。																																								
事故調査の経過	平成30年4月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。																																								
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	シーカヤック（船名なし）、総トン数なし（本体重量39.0kg） なし、個人所有 6.00m×0.84m×0.46m、アルミ及び高密度ポリエチレン製の骨材、ポリテック（デッキ）、デュラテック（ハル）の防水布等 機関なし、不詳																																								
乗組員等に関する情報	漕手A 男性 61歳 漕手B 男性 52歳																																								
死傷者等	死亡 2人（漕手A及び漕手B）																																								
損傷	なし																																								
気象・海象	気象：天気 晴れ 妻良漁港沖の南東方約10kmに位置する石廊崎特別地域気象観測所の5日における観測値は、次のとおりであった。 <table border="1" data-bbox="571 1653 1401 2047"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時刻 (時:分)</th> <th rowspan="2">気温 (°C)</th> <th colspan="2">平均</th> <th colspan="2">最大瞬間</th> </tr> <tr> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> <th>風向</th> <th>風速 (m/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>09:00</td> <td>15.1</td> <td>東北東</td> <td>13.9</td> <td>東</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>14.8</td> <td>東北東</td> <td>13.0</td> <td>東北東</td> <td>16.8</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>14.3</td> <td>東北東</td> <td>12.7</td> <td>東</td> <td>16.6</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>14.6</td> <td>東北東</td> <td>13.1</td> <td>東北東</td> <td>17.3</td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>14.8</td> <td>東北東</td> <td>9.7</td> <td>東北東</td> <td>15.2</td> </tr> </tbody> </table>	時刻 (時:分)	気温 (°C)	平均		最大瞬間		風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)	09:00	15.1	東北東	13.9	東	18.3	10:00	14.8	東北東	13.0	東北東	16.8	11:00	14.3	東北東	12.7	東	16.6	12:00	14.6	東北東	13.1	東北東	17.3	13:00	14.8	東北東	9.7	東北東	15.2
時刻 (時:分)	気温 (°C)			平均		最大瞬間																																			
		風向	風速 (m/s)	風向	風速 (m/s)																																				
09:00	15.1	東北東	13.9	東	18.3																																				
10:00	14.8	東北東	13.0	東北東	16.8																																				
11:00	14.3	東北東	12.7	東	16.6																																				
12:00	14.6	東北東	13.1	東北東	17.3																																				
13:00	14.8	東北東	9.7	東北東	15.2																																				

	<table border="1"> <tr> <td>14:00</td> <td>14.1</td> <td>東北東</td> <td>9.5</td> <td>東</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>13.8</td> <td>東北東</td> <td>7.6</td> <td>東北東</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>13.7</td> <td>東北東</td> <td>7.4</td> <td>東北東</td> <td>12.1</td> </tr> <tr> <td>17:00</td> <td>13.5</td> <td>東北東</td> <td>5.8</td> <td>東北東</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>18:00</td> <td>14.2</td> <td>東北東</td> <td>5.5</td> <td>東北東</td> <td>9.6</td> </tr> </table> <p>海象：波高 約1.2m、水温 約17℃</p> <p>南伊豆町には、4月4日12時58分に強風波浪注意報が発表され、5日16時29分に解除された。</p>	14:00	14.1	東北東	9.5	東	15.4	15:00	13.8	東北東	7.6	東北東	11.6	16:00	13.7	東北東	7.4	東北東	12.1	17:00	13.5	東北東	5.8	東北東	10.0	18:00	14.2	東北東	5.5	東北東	9.6
14:00	14.1	東北東	9.5	東	15.4																										
15:00	13.8	東北東	7.6	東北東	11.6																										
16:00	13.7	東北東	7.4	東北東	12.1																										
17:00	13.5	東北東	5.8	東北東	10.0																										
18:00	14.2	東北東	5.5	東北東	9.6																										
事故の経過	<p>本船は、漕手A及び漕手Bが乗り、石廊崎までを往復して漕走する目的で、平成30年4月5日09時00分ごろ、妻良漁港子浦地区の海岸を出発し、静岡県石廊崎に向かった。</p> <p>海上保安庁は、18時02分ごろ、漕手A及び漕手Bの友人から、帰着予定時刻を5～6時間過ぎても戻って来ない旨の118番通報により救助要請を受けて巡視船、固定翼航空機等を現場に向かわせ、石廊崎から南伊豆町波勝岬までの海域の捜索を行った。</p> <p>漕手Aは、8日05時35分ごろ、静岡県沼津市千本郷林（若山牧水記念館南西方約60m）の海岸に遺体で漂着しているところを、通行中の男性により発見され、司法解剖の結果、死因は溺死であり、死亡推定時刻は、4月5日10時ごろと検案された。</p> <p>本船は、10日14時55分ごろ、漁船をチャーターして捜索中の家族により、伊豆市小下田の海岸に無人で漂着しているのが発見された。</p> <p>漕手Bは、5月23日01時58分ごろ、沼津市千本沖を遺体で漂流しているところを、まき網漁をしていた漁師により発見され、司法解剖の結果、死因は溺死の疑いであり、死亡推定時刻は4月上旬ごろと検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船（船首側）、写真2 本船（左舷側） 参照）</p>																														
その他の事項	<p>漕手Aは、シーカヤックの経験が約10年以上あり、最近では1年に約5～6回程度本船に乗っており、平成29年4月、今回と同様に、妻良漁港子浦地区の海岸を出発して、石廊崎を往復するツーリングを行った際、風が強くて引き返したことがあった。</p> <p>漕手Bは、これまでに約2～3回程度本船に乗ったことがあった。</p> <p>漕手Aの親族によれば、漕手A及び漕手Bの健康状態は良好であるように見えた。</p> <p>本船は、船体に衝突の痕跡は見られなかった。</p> <p>海岸に漂着した本船の周囲には、漕手Aと漕手Bのものと思われる衣類、付属品、食料品等があった。</p> <p>漕手Aは、フリース、ズボン等を着用し、救命胴衣を着用していた。</p>																														

	<p>漕手Bは、上下揃いのウェットスーツ用のラッシュガードを着用し、救命胴衣を着用していた。</p> <p>漕手Aの携帯電話は、防水手段については不明であり、発見されていない。</p> <p>漕手Bが所持していた防水パック入りの携帯電話1台が本船と一緒に伊豆市小下田の海岸に漂着しているのが発見された。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>あり</p> <p>漕手Aは、溺死した。</p> <p>漕手Bは、溺死の疑いと検案された。</p> <p>本船は、4月5日の09時00分ごろ妻良漁港子浦地区の海岸を出発し、10日14時55分ごろ伊豆市小下田の海岸に無人で漂着しているのが発見されたことから、この間において、漕手A及び漕手Bが落水したものと考えられる。</p> <p>漕手A及び漕手Bは、本船が妻良漁港沖において、出発当時、約13.9m/sの東北東風が吹き、出発後、波高が約1.2mの波を受けて落水し、溺死又は溺死の疑いに至った可能性があると考えられるが、目撃者がいないことから、それらの状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、妻良漁港子浦地区の海岸を出発した後、妻良漁港沖において、漕手A及び漕手Bが落水して溺水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の気象海象情報を正確に判断し、風や波の状況に少しでも不安があれば出発を見合わせる事。 ・防水型携帯電話等を常に携帯し、落水した際の連絡手段を確保しておくこと。

付図1 事故発生場所概略図

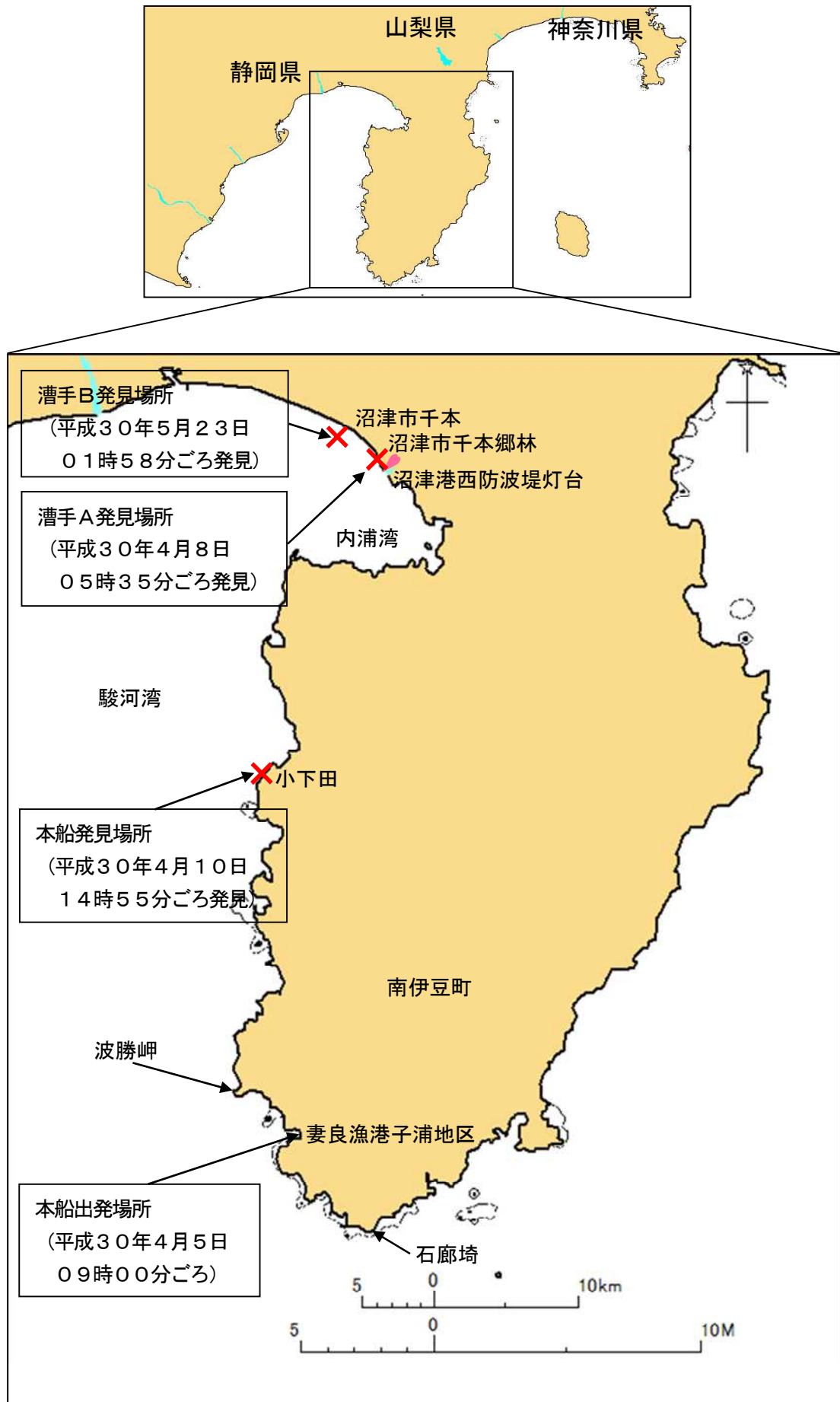


写真1 本船（船首側）



写真2 本船（左舷側）

